

令和6年度 洛友会東京支部総会

令和6年6月23日(日)
於 学士会館／Web 会議

議事次第

- 開会の辞
- 支部長挨拶
- [第一号議案] 令和5年度行事・活動報告
- [第二号議案] 令和5年度決算報告および監査報告
- [第三号議案] 令和6年度の役員／評議員／幹事
- 支部長退任の挨拶
(役員交代)
- 新支部長挨拶
- [第四号議案] 令和6年度行事・活動計画
- [第五号議案] 令和6年度予算計画
- [第六号議案] 米寿・喜寿のお祝い
- 閉会の辞

付録1: 洛友会東京支部会則【令和元年6月30日改正】

洛友会東京支部ホームページ <http://www.rakuyukai.org/tokyo>
洛友会東京支部メールアドレス webmaster@rakuyukai.org

(ご参考)

京都大学アラムナイホームページ <http://www.alumni.kyoto-u.ac.jp/>

1. 令和5年度行事・活動報告

1.1 支部総会, 講演会, 懇親会

令和5年6月25日(日)、東京支部総会、本部総会、講演会および懇親会を学士会館にて開催しました。令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が季節性インフルエンザと同じ「5類」となったことを受け、①現地参加を基本に、現地参加が難しい方に向けて②Microsoft 社 Teams による Web 会議を利用したオンライン参加とのハイブリッド形式で実施することとなりました。

当日の現地参加は37名、オンライン参加は12名で、議案についての意見を交わすことができ、盛会となりました。

【支部総会】

支部総会は午後2時より南川総務幹事が司会を進行し、北條支部長による開会挨拶で始まりました。

まず、南川総務幹事より令和4年度行事・活動報告、堀内会計幹事より決算報告が実施されました。活動報告では、昨年一年を通して新型コロナウイルスの影響下で、Web 会議を活用して支部総会と、秋の講演会を開催した一方で、春の見学会の実施を断念したことが報告されました。また、趣味の会、拡大クラスなどのイベントが徐々に以前の姿を取り戻しつつあることが報告されました。決算報告では、会計監査の結果、収支状況が適切と判断された旨が報告され、承認されました。

次に、令和5年度役員として、支部長 平川明(S57)、副支部長 角田恭之(S58)、幹事 安藤隆朗(S59)、総務幹事 堀内健介(H16)、会計幹事 松ヶ谷篤史(H17)、庶務幹事 篠田健司(H16)、若手交流会幹事 南川敦宣(H15)の就任が承認されました。その後、北條前支部長から退任のご挨拶、平川新支部長から就任のご挨拶がありました。

北條前支部長からは、コロナ禍で支部の活動が新しいスタイルででき、予算的に余裕ができたので、今年度からは以前と同じように活動できるだろうと期待するお言葉とともに退任のご挨拶をいただきました。

平川新支部長は、ご自身の弁理士という経歴にも触れつつ、リモートツールが当たり前となった現在の状況に合うよう洛友会全体が発展できればよく、そのために貢献したいとの抱負を述べられました。

続いて、令和5年度行事・活動計画と予算計画について堀内新総務幹事より説明。計画説明の中では、秋の講演会を11月に開催予定であること、春の見学会も3月に開催予定であることに触れられました。その他の活動計画についても趣味の会、拡大クラス会、幹事会、若手活性化施策、支出削減策に継続して取り組むこと等の説明がありました。また令和4年度から令和6年度までの時限付きで趣味の会・拡大クラス会への補助金が従来の1万円から2万円へと増額されていることが案内され、いずれの行事・活動計画も承認されました。

最後に、令和4年度に米寿を迎えられた黒田 昭様(昭和34年卒)、喜寿を迎えられた築添 弘一様(昭和45年卒)、中尾 榮一様(昭和45年卒)、岡林 光志様(昭和45年卒)のお名前が紹介され、拍手とともに会議参加者より祝意が評されました。(会を前後して一宮 寛様(昭和44年卒)も喜寿を迎えられましたことをここに報告させていただきます。)



北條前支部長



平川新支部長

【講演会】

講演会では、国際電気通信連合 電気通信標準化局長 尾上様にジュネーブからオンラインにてご講演いただきました。講演のタイトルは「携帯電話技術の発展、その過去と未来」です。

【第一号議案】

尾上様は ITU の電気標準化局長に就任されました。ITU は国連の専門機関で、尾上様の電気通信標準化のほか、無線通信、電気通信発展の3つの部門及び研究委員会(Study Group)から成ります。最近の活動としては、メタバースの Focus Group を作ったり、AI for Good という活動など先端技術についての議論をリードしている様子を紹介されました。

講演の主題は、1G から5G、そして6G から12G。まず5Gまでの歴史を振り返られました。1G はアナログの時代で世界標準という機運もありません。2G でデジタルの時代となり GSM が事実上の世界標準となりました。そして3G になり世界統一標準としての開発が訪れ、TD-CDMA と W-CDMA の対決が起き、当時尾上様はドコモで技術議論の frontline にいらっしゃいました。日本では W-CDMA ですでにサービスが始まっていたこともあり欧州の TD-CDMA との妥協案が必要になり、Siemens と共同で周波数の割り当てに関する提案をされたという興味深い話を紹介いただきました。4G LTE で、初めて本当の意味での世界統一標準になり、これはマーケットが決めた結果論であるとのことでした。裏話としてエリクソンのエピソードも挙げられました。そして5G は一つの標準化という前提で進み、4G とは違ってブームになり、神話のようなものになった。仕様も決まっていない状態から「早くやりたい」というプレイヤーが出たり、世界初のサービスイン事業者争いがあつたりと、従来の世代とは異なる様相を呈していたとのことでした。

後半には今後の展望について持論を述べられました。「偶数世代のみ大成功する」という評価をされているとのこと。だからこそ5G を大成功に導きたいとも思われているとのこと。そして、通信の世代が将来的にどれほど触れるのかというトピックも紹介いただきました。尾上様が講演で聴衆に質問すると、10G か12G という回答がよく出るそうです。とあるイベントでは標準化が必要なのか？との問いかけに対して標準規格もなくノード感で勝手に自律的に通信方式をネゴシエーションする時代になるのかもしれないとの考え方を紹介されました。さらに、途上国でのブロードバンドの普及にも触れられました。ITU の局長としても、アフリカにおいて移動通信の普及速度が遅いことに言及し、リーダーとフォロワーのギャップを短縮したいとのことでした。

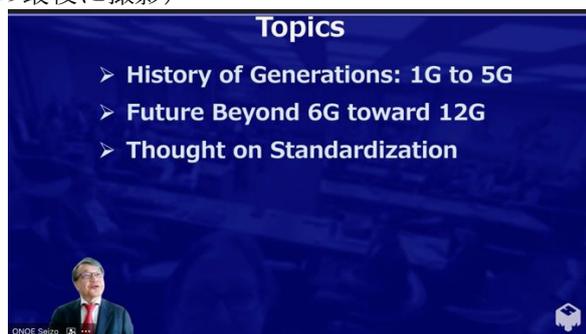
最後にいろんな人と会うたびに写真を撮影していることを紹介され、本講演の写真も撮影し、講演を終えられました。



現地会場（講演の最後に撮影）



尾上様



講演の様子

【懇親会】

5時から4年ぶりとなる懇親会を開きました。コロナ禍に支部の繰越金が蓄積したことから、再活性化のために今年度の懇親会費用は支部で負担しました。多彩な参加者が料理を囲み、久々の懇親会を楽しみました。

[報告] 総務幹事 堀内 健介(H16年卒)

1.2 秋の講演会

令和5年11月28日(火)に秋の講演会を開催しました。昨年は現地参加と Web 参加のハイブリッド開催としましたが、今年度は現地参加を基本としました。他支部の方々にも参加いただけるよう、本部から講演会の案内がありました。その結果、現地参加者は38名、オンライン参加者は40名で、盛況な講演会となりました。平川支部長が冒頭に挨拶し、講演者の千本様の略歴を紹介しました。

今回は、株式会社レノバ取締役会長であり連続起業家である千本倅生様から「AI時代の経営戦略」と題してご講演頂きました。千本様は、京都大学工学部電子工学科卒業された後に、日本電信電話公社へ入社され、フルブライト奨学生としてフロリダ大学に留学し学位を取得。1984年には稲盛和夫氏らとともに第二電電株式会社(現・KDDI)を創業されるなど、日本の通信事業を開拓されてきました。81歳となられた現在も世界中を往来しビジネスをされ、当日もカンボジアのプノンペンから帰国した直後での講演となりました。

まず最近の出来事として、サッカー日本代表元監督の岡田武史氏が経営について教を請うため千本様を訪ねた際のエピソードに触れられ、岡田氏が今治 FC を立ち上げてから今治市が抜本的に変わったという話を紹介されました。同氏のリーダーシップについてはサッカー日本代表の監督として皆さんご存知のことですが、同時に素晴らしい経営センスもお持ちであるとの話は非常に興味深いものでした。

次に、会長を務められている株式会社レノバの取り組みから、アジアの3つの国、ベトナム、中国、カンボジアについての見解や、それぞれの国の特性、そしてアジアにとってデジタル人材不足が問題であるという話題をいただきました。特にベトナムは若い世代が多く、勉強熱心で技術力も高い。千本様はベトナム現地の大学との繋がりも既にお持ちで、アジア最大のデジタル人材の排出拠点にしたいと述べられました。

まさに発展の最中にあるアジア諸国に触れつつ、ご自身が電電公社に入った際の経験や、その後のNTTの民営化、国鉄の民営化についての見解、そして第二電電の起業へとつながった1983年の京都商工会議所での稲盛氏をはじめとした社長らに向けて講演した際のエピソードを語られました。世間では稲盛氏のイメージは仏のようですが、実際は元々から巨大なエネルギーを持っており、人格修行をされて現在の認識が形成されたという話は興味深いものでした。そしてご自身の経歴を振り返られ、人生で大事なことは出会いであり、出会いが成功の鍵であり、出会いがないと何も起こらないと強調されました。

講演の終盤には、社会に役立つ生き方をしたいと財団を2つ作った話を紹介されました。ご自身の資力だけでなく周囲の経営者も巻き込みつつ寄付の規模を大きくされる振る舞いは、まさに経営者の姿そのものだと感じました。

講演会の後には懇親会を開催しました。千本様や平川支部長を含む多くの方が参加し、令和年大卒の若手から大先輩までが料理を囲み歓談しました。



講演会の様子(私学会館にて)



講演される千本様

[報告] 会計幹事 堀内 健介(H16年卒)

1.3 見学会

寒冷や降雨が続き、桜の開花が遅れる中、奇跡的に快晴に恵まれた3月27日(水)に春の見学会を開催いたしました。コロナ禍のため、2018年以来の開催となりました。今回は東京都立川市にある国立極地研究所と昭和天皇記念館を訪れ、28名の方に参加いただきました。皆様のご協力により、新宿西口を定刻に出発し

ました。平日のため、一部混雑が見られましたが、10時過ぎに国立極地研究所に到着しました。

最初はスタッフの方に南極・北極科学館に併設された談話室に案内いただき、今回の見学会の準備及び対応に多大なご尽力をいただいた山岸久雄様(S48卒)と、副所長の堤雅基様(H2卒)に出迎えていただきました。

堤様からは国立極地研究所の紹介や地球環境の測定に関する興味深い講義をいただきました。電気系の研究者が活躍する一分野として大気の観測があり、京都大学の生存圏研究所が設置・運用する「MU レーダー」をより大規模にした「PANSY」の設置に堤様が深く関わられました。南極は人間生活から隔絶されているためノイズの小さな環境です。この特性を活かし、電離層までの高高度領域を対象にした測定を行っているとのことでした。南極に設置するということで PANSY には低消費電力かつ環境に配慮することが重要な要件である一方、レーダーとしての性能を確保すべく、1045本の軽量アンテナにより構成される大規模なアクティブフェイズドアレイレーダーとして設置されました。南極でアンテナを設置する場合には、穴を掘って埋めるだけで周囲が凍ることで固着し氷が解けないために簡単に工事が完了するとのことでした。しかし設置には南極観測隊の方々が入力で行わなければならないため気の遠くなるような労力が必要であったとの苦労話も教えていただきました。

続いて山岸様からはアイスコアと隕石についての話を教えていただきました。アイスコアは氷床を円柱状に掘削したもので内部には過去の大気が保存されており大昔の機構を知る手がかりになるものです。山岸様らは4年がかりで3000mのアイスコアを掘削し、気温の変化のダイナミズムやCO2濃度との関係性を明らかにされたとのことでした。また、南極は世界的にも多くの隕石が発見される場所とのこと。隕石は南極以外の場所では7割を占める海に沈むか、陸地でも見つけることは容易ではありません。しかし南極では氷上に墜落した隕石が氷の昇華をとまなうダイナミズムにより長い年月をかけて特定の地形に集約され、白色の氷の上に黒色の隕石が表出するために多くを発見できる環境にあるとのことでした。

講義の後には南極・北極科学館を2班に分かれて見学し、引き続きお二人に案内いただきました。講義中に出てきた内容をはじめとして専門家に教えてもらいながらの見学は非常に興味深い貴重な時間となりました。



快晴に恵まれました(新宿にて)



山岸様・堤様による講義の様子

国立極地研究所の見学後、バスに乗って「がんこ・たちかわ茶寮」に移動し、昼食をとりました。昭和初期の邸宅を改装した優美な館内で料理をいただき、話題に事欠くことなく、楽しい時間を過ごしました。昼食後は昭和記念公園内の「昭和天皇記念館」を見学しました。昭和天皇御在位五十年記念事業の一環として設置され、緑を愛された昭和天皇の生物学ご研究や昭和天皇、香淳皇后のご遺品・写真等の昭和天皇ゆかりの資料を展示しています。到着後には館長自ら出迎えていただき、集合写真の後に展示内容を教えていただき、自由に見学しました。

支部会員のみなさまの親睦を図ることができ、充実した1日を過ごすことができました。その後、バスにて新宿駅まで戻りましたが、帰り道は渋滞もあり、予定よりも遅い到着となりましたが、参加者皆様のご協力のお陰で、無事解散となりました。

最後に、国立極地研究所名誉教授の山岸久雄様(S48卒)、国立極地研究所副所長の堤雅基様(H2卒)、及び国立極地研究所の皆様にご挨拶申し上げます。



タロ・ジロ像前で集合写真



昭和天皇の御料車

[報告] 総務幹事 堀内 健介(H16年卒)

1.4 若手交流会

令和元年度から企画・開催された院卒1年目を対象とした歓迎会ですが、昨年度に続き令和5年度も未開催となりました。

[報告] 若手交流会幹事 南川 敦宣(H15卒)

1.5 趣味の会

名称	令和5年度幹事
囲碁会	向井 利典(S41卒)、内海一成(H8年卒)
麻雀会	石黒 公(S40卒)
ゴルフ会	古澤 久具(S35卒)、山澤 穰(S38卒)、田崎 信(S44卒)
洛謡会	村上 薫(S36卒)
テニス会	山内 英樹(S44卒)、田中 喜男(S44卒)、成松 洋(S46卒)

入会のご希望、またはお問い合わせがございましたら、以下のアドレスにメールをご送付ください。

- ・囲碁会 igo@rakuyukai.org
- ・麻雀会 mahjong@rakuyukai.org
- ・ゴルフ会 golf@rakuyukai.org
- ・洛謡会 utai@rakuyukai.org (宝生流、観世流の謡会)
- ・テニス会 tennis@rakuyukai.org

●囲碁会活動報告

幹事 向井 利典(S41卒) 内海 一成(H8卒)

新型コロナウイルスの蔓延状況により囲碁会の活動はしばらく休止していたが、令和4年度から再開し、令和5年度では7月、11月、令和6年2月の3回、開催した。会場は再開時に選定した日本棋院本院(市ヶ谷)の一般対局室を引き継いだ。新型コロナウイルスが令和5年5月から第5類感染症とされた以降、この会場も感染対策は緩和されたが、一般の碁会所よりも空いているので、安心感がある。

各回の参加者と成績優秀者は以下の通りである。

参加者数と成績:

各回の参加者数、成績優秀者(3戦全勝者)は以下の通り(卒年順、敬称略)

◇ 第一回(R5年7月9日)

参加者 8名

優秀者 内海一成(H8卒)

◇ 第二回(R5年11月19日)

参加者 11名

優秀者 石黒 公(S40年卒)、大谷謙治(S41卒)、内海一成(H8卒)

◇ 第三回(R6年2月25日)

参加者 10名

優秀者 宮内志人(S32年卒)、西谷卓史(S48卒)

運営方式:

対局方式は各自の持点によるハンディキャップ制とし、午後の半日の時間内(原則12時～17時)に対局した最初の3局の成績に応じて賞品(図書カード、または QUO カード)を進呈している。時間の許せる人は4局目以降も対局し、結果は次回の持点に反映する方式をとっている。

囲碁会は「気軽に参加し、気楽に楽しむ」ことをモットーに、例会開催日直前での参加や取消しにもフレキシブルに対応し、集合・解散の時間も個々自由にできる、いわゆる「好きな時に来て好きな時に帰る」方式をとっている。現在の参加者の棋力は高段者から級位者まで広く分布しているが、持ち点制のハンディキャップ採用により、どんなに棋力の差があっても対等に対局でき、盤前に対座すれば親子孫ほどの年齢差に関係なく、世代を越えて和やかな雰囲気に対局を楽しむことができるので、興味のある方はどうぞ気軽にご参加いただきたい。なお、まだ仕事が多忙な世代も参加しやすいように日曜日に開催している。

参加人数は10年ほど前までは20～25人であったが、その後、残念ながら漸次減少傾向にある。これは、最近では新規参入がほとんどなく、平均年齢が毎年上昇している状況による。ご高齢の会員が活発に活動されている事には大変敬服する次第であるが、一般的な囲碁人口の比率からすれば、中堅・若年層の新規参加が切望される。上記の運営方式なので、気軽に参加していただきたい。

以上(文責:向井記)

●麻雀会活動報告

幹事 石黒 公(S40卒)

横浜港停泊中の豪華客船でコロナが検出されて以来足かけ5年間当麻雀会は中断されておりました。その間会員のなかに亡くなられたり体調を崩されたりされる方々がおられ、また前幹事役船山真弘氏(S39 修)から「幹事交替」のご要望があり、不肖石黒公(S40 氣)がお引き受けすることになりました。

長引くコロナ禍で雀荘がどんどん廃業してしまい「お店探し」から再出発しなければならないという状況のなか、2023年度は第116回例会(12月16日 於:まーじゃん MAP(新橋))だけの開催になりました。次年度からは年3回の開催に戻します。

みなさまの中で「参加してみよう」と思われる方があれば是非下記メール宛てにご一報ください。次回以降の「開催案内」「成績」などを配信させていただきます。

(趣味の会麻雀会 幹事 石黒公 ishiguro-1965@mail2.accsnet.ne.jp)

以上

●ゴルフ会活動報告

幹事 田崎 信(S44卒)

開催しませんでした。会員の方に再開時の参加意向について調査をした結果、参加を希望される方は6人ほどに減少しました。

今後は若い方も参加できるように、土曜日開催や開催場所の変更等を考慮して秋の再開を目指しています。入会希望の方は幹事までご連絡下さい。

以上

●洛謡会活動報告

幹事 村上 薫(S36卒)

謡会を年間3回実施しています。

- 1)第171回洛謡会 令和5年6月30日(金) 於 目黒区勤労福祉会館
曲目: 大枝山(宝) 班女(観) 頼政(宝) 天鼓(観)
- 2)第172回洛謡会 令和5年12月1日(金) 於 目黒区勤労福祉会館
曲目: 百万(宝) 東北(観) 雨月(宝) 熊坂(観)

3) 第173回洛語会 令和6年3月7日(木) 於 目黒区勤労福祉会館

曲目：桜川(宝) 田村(観) 松風(宝) 定家(観)

宝生流と観世流で毎回2曲ずつ謡っています。曲により難しさもいろいろですが、能の舞台となった昔を偲びながら大声を出して、楽しんでおります。力を入れて声を出すことは健康の秘訣です。謡のご経験のある方がおられましたら是非ご参加ください。

昭和44年に始まる伝統ある古典芸能の会です。以前は謡曲と言えば紳士の教養でしたが、最近では謡といっても首をかしげる方が多くなりました。火を消さぬよう続けてゆきたいと思っています。

以上

●テニス会活動報告

幹事 山内 英樹(S44卒)、田中 喜男(S44卒)、成松 洋(S46卒)(文責)

洛友会東京支部テニス会は、開始より約半世紀の間継続しています。昭和50年代初頭からほぼ毎月1回の頻度で 週末あるいは祝祭日での例会を実施してきました。新型コロナの影響で例会を開催できなかった期間もありましたが、その制限も無くなり、また皆さんと楽しくテニスを楽しめるようになりました。会場は確保できたものの、猛暑でアラートが出て中止になったり急な体調不良者が出て例会が中止になったりしたこともあったのが少々残念でした。

私達の活動拠点は、首都高速道路東京インター(用賀)近くにある、砧公園や NHK 技術研究所に隣接の大蔵第二運動場です。毎回、テニスコート1面を2時間確保して、ダブルスのゲームを楽しんでいます。新規に最近参加された会員も居られ、和気あいあいと楽しくプレーをすることができています。

これからもテニス会を継続して会員諸氏の親睦と健康維持に貢献していきたいと願っています。少しでも体を動かすことに興味をお持ちの皆様、初心者の方も大歓迎ですし勿論腕に自信のある方も、ぜひ幹事までご一報くださるよう、お待ちしております。

回	開催予定/実施日			参加人数	開催場所
1	令和5年	4月2日	(日)	7名	世田谷区大蔵第二運動場
2		7月9日	(日)	6名	世田谷区大蔵第二運動場
3		7月30日	(日)	猛暑アラート中止	
4		9月3日	(日)	5名	世田谷区大蔵第二運動場
5		11月12日	(日)	面子不足中止	
6	令和6年	1月7日	(日)	5名	世田谷区大蔵第二運動場
7		1月21日	(日)	面子不足中止	
8		2月12日	(月祝)	5名	世田谷区大蔵第二運動場
9		3月3日	(日)	5名	世田谷区大蔵第二運動場

以上

1.6 拡大クラス会

名称	令和5年度 幹事
京極会[S35~S39卒]	村上 薫(S36)
洛粹会[S40~S44卒]	浜口 友一(S42)
洛談会[S45~S49卒]	成宮 憲一(S49)
洛笑会[S50~S54卒]	伊藤 八大(S54)
喜洛会[S55~S59卒]	北條 博史(S56)
洛泡会[S60~H1卒]	水本政宏(S63)、菅谷 靖(H1)
洛成会[H2~H6卒]	中原 智勇(H2)
百万遍会[H7~H11卒]	山本 輝哉(H10)
洛晶会[H12~H16卒]	堀内 健介(H16)

●京極会[S35～S39卒]

幹事 村上 薫(S36)

本年度の京極会を令和6年1月15日(月)に学士会館で開催しました。

講師は本年度幹事の村上薫が務め、「私の能楽人生」と題して学生時代から親しんでいる能楽(謡・仕舞)について、稽古・演奏してきた概要を紹介し、最後に平成23年11月に演能した「安宅」のビデオを上演し、楽しんで頂きました。(参加者7名)

講師は学生時代からこれまで5回能を演じ「安宅」は4回目に当たります。この曲は、義経が頼朝に追われて北陸道を山伏姿で奥州へ落ち延びる道中、安宅関で咎められ、東大寺の大仏建立の寄進集めの道中と偽り、勸進帳を読んで逃げ延びる物語ですが、8人の同行山伏を学生時代のサークル京大宝生会のOBが参加するという記念すべき一大イベントでした。京大宝生会のOB会は毎年のように全国OB・OG会を開催し、謡・仕舞を楽しんでいます。講師はその一番の先達に当たります。また洛友会の趣味の会である洛謡会の幹事を平成13年より担当しています。

以上

●洛粋会[S40～S44卒]

幹事 浜口 友一(S42)

洛粋会の会合を2023年12月7日に学士会館で行いました。S40～S44の世代から23名が集まり盛会となりました。

また、S42年卒、関東・関西合同クラス会を2023年12月1日にホテル・モンレー銀座で行い、21名が集いました。

以上

●洛談会[S45～S49卒]

幹事 成宮 憲一(S49)

令和5年度は活動ありませんでした。

以上

●洛笑会[S50～S54卒]

幹事 伊藤 八大(S54卒)

洛笑会(S50～S54卒の拡大クラス会)の第7回会合を、2024年3月19日19時から学士会館に於いて立食懇談で開催しました。新型コロナ禍のため、2019年5月以来、5年ぶりに懐かしい面々20名が集まりました。

乾杯・歓談後、参加者全員から1分程度ずつですが、近況報告を頂きました。仕事の話あり、また趣味の話もあり、いずれも興味深い内容ばかり。話題の途切れることなく懇談が進み、ワイン等を追加注文することになるほどでした。最後に次回幹事の川原崎様(S50年卒)の中締め、記念撮影を行い、次年度の再会を約して散会しました。あっという間の2時間でした。

少し残念だったのは、定年退職等で職場を離れた方で会社のメールアドレスしかわからず連絡できなかった方も多く、参加者が少な目だったことです。開催案内が来なかったな～、という方は、ぜひ学年幹事あるいは支部幹事まで、ご連絡ください。

また、今回ご都合により参加できなかった方々も、次回はぜひ!

ただし、学士会館は2025年1月から再開発事業で休館・建替えですので、次回以降しばらくは別会場での開催になります。

以上



●喜洛会[S55～S59卒]

幹事 北條 博史(S56)

令和6年3月22日(金)、新型コロナの影響で4年ぶりとなりました第2回の喜洛会を、JR 新宿駅近くの居酒屋にて開催しました。総勢7名の参加があり、新宿のきれいな夜景を眺めながら、近況の報告や、昔話などに花を咲かせ、和気あいあいとした雰囲気の中、盛会のうちにお開きとなりました。

令和6年度は幹事を平川様(S57)に変更します。



以上

●洛泡会[S60～H1卒]

幹事 水本 政宏(S63)、菅谷 靖(H01)

令和6年2月16日(金)、銀座エリアのイベント会場にて、昨年引き続き対面形式でクラス会を開催しまし

【第一号議案】

た。今年は昨年を上回る19名の参加があり、5学年が一堂に会して楽しいひとときを過ごしました。参加者それぞれが近況報告を行い、交流を深める中で、来年度の再会を約束して盛会のうちに終了しました。令和6年度の幹事は、菅谷靖(H01)と田村俊之(S60)の2名が担当します。



以上

●洛成会[H2～H6卒]

幹事 中原 智勇(H02卒)

洛成会の活動を始めてからほどなくコロナ禍が始まり活動を中断していましたが、昨年5月にコロナが5類に移行したのを機に、久しぶりに中原、鎌田さん、松野さんの3名で交流の場を持ちました。活動自体はまた一からスタートの感がありますが、今後も継続的に交流していきたいと思ひます。



土間土間登戸店にて



当日鎌田さんからいただいた北海道土産

以上

●百万遍会[H7～H11卒]

幹事 山本 輝哉(H10卒)

拡大クラス会[H7～H11卒] 百万遍会 令和5年度は2024年5月9日に開催いたしました。今回は品川駅近辺京急第一ビル内「ダイナミックキッチン&バー 響 品川店」にて4年ぶりの開催となりました

が、参加者は9名となりました。

拡大クラス会を設けてから各学年からの参加は今回が初めてとなりました。面識がない方も昔話と現在の仕事の状況に関して話合い、すぐに意気投合することができ、にぎやかな会になりました。普段卒業生同士で会うことも中々ないため、拡大クラス会は旧交を深めるよい機会であるという意見をいただきました。

本会の中で直近の洛友会東京支部の活動内容を共有及び次回の総会の案内を実施しました。今後も本会を継続することで、会員の洛友会への参加が増えることを図っていきたいと考える。

次回幹事は山本 輝哉(H10卒)が引き続き行う。



以上

●洛晶会[H12～H16卒]

幹事 堀内 健介(H16)

令和5年度は活動ありませんでした。令和6年度の幹事に変更はありません。

以上

1.7 幹事会

日時： 令和5年5月19日 10:00～12:00

場所： Web 会議

議題：

1. 令和5年度行事・活動報告
各幹事から活動報告がされました。見学会、若手交流会がコロナウィルス流行の影響により中止となった旨が共有された一方で、趣味の会や拡大クラス会は再開された会が出てきました。
2. 令和5年度決算報告
堀内会計幹事からの決算報告、平川監事からの監査報告があり、決算内容が承認されました。
3. 令和5年度役員／評議員／幹事
南川総務幹事より説明があり、次期役員／評議員／幹事が承認されました。
4. 令和5年度行事・活動計画
南川総務幹事から、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が季節性インフルエンザと同じ「5類」となったことを受け、前年度よりも活動を活性化する方針であることが説明され、行事・活動内容が承認されました。
5. 令和5年度予算計画

堀内会計幹事から計画が説明されました。令和5年度予算では活動を活性化する費用として予備費を計上する方針としました。

1.8 京都大学同窓会東京支部連絡会

例年、在京の同窓会で開催されていた連絡会議および交流会ですが、新型コロナウイルスの影響を受け、開催が見送られていました。本年度も開催はありませんでした。

[報告] 支部長 平川 明(S57)

1.9 課題への取り組み報告

(1)登録会員(連絡先が把握できている会員)数向上について

まずは、会員に各種情報を届けるためのメールアドレスの把握・現行化のため、以下の取り組みを実施しました。

- ① 機会あるごとに、洛友会 HP における会員情報変更手順を記載することで、連絡先の現行化を依頼。
- ② 昨年に引き続き秋の講演会を開催するとともに、コロナ禍を経て春の見学会を再開することで、会員への案内頻度を増やし当支部の活動活性化をアピールした。

今後も支部役員・学年幹事・拡大クラス会幹事が連携し、当会との関係が疎遠になりがちな(特に、若手)会員に対し、当支部主催のイベントはもちろんのこと、京都大学全学同窓会等が開催する各種イベントの案内等をより多くの会員に届けることとします。

(2)若手活性化施策について

卒業して間もない若手会員に、洛友会東京支部の存在そのもの、そして、その活動を認識してもらうため、東京支部エリアに就職した院卒1年目を対象とした歓迎会ですが、本年度も開催できませんでした。

(3)全学同窓会活動について

例年、東京支部連絡会議に参加し、全学同窓会活動との連携をはかっておりますが、令和5年度も開催されませんでした。

(4)支出削減について

令和5年度は、春の見学会が再開されるなど予備費を除き予算どおりの支出となりました。新型コロナウイルス感染症の影響で繰越金には余裕があります。一方で定常的な支出削減施策は継続して実施します。

- ・総会を除く支部イベントの案内は電子メールのみとする。
- ・片道ハガキ送付による総会の案内は、支部長より上の年次のみを対象とする。

1.10 洛友会会報への寄稿

今年度は、東京支部からは下記の洛友会会報へご寄稿いただきました。

- 第281号(令和5年 7月) 巻頭言 北條 博史 様(S56卒、前東京支部長)

3. 令和6年度の役員／評議員／幹事

●役員

	令和6年度新役員(案)	令和5年度 役員
支部長	角田 恭之(S58) NTT データマネージメントサービス(株)	平川 明(S57) 秀和特許事務所
副支部長	安藤 隆朗(S59) 農業・食品産業技術総合研究機構	角田 恭之(S58) NTT データマネージメントサービス(株)
監事	田村 俊之(S60) KDDI(株)	安藤 隆朗(S59) 農業・食品産業技術総合研究機構
総務幹事	松ヶ谷 篤史(H17) KDDI(株)	堀内 健介(H16) 東芝デジタルソリューションズ(株)
会計幹事	<調整中>(H18) 〇〇	松ヶ谷 篤史(H17) KDDI(株)
庶務幹事	篠田 健司(H16) JAXA	篠田 健司(H16) JAXA
若手交流会幹事	堀内 健介(H16) 東芝デジタルソリューションズ(株)	南川 敦宣(H15) (株)KDDI 総合研究所

●学年幹事

卒年	令和6年度 学年幹事	(参考) 令和5年度 学年幹事
S24	舟田 正男	←
S25	山田 昭二郎	←
S26	青山 善次	←
S27	室賀 弘	←
S30	葉原 耕平	←
S31	鍵山 圭一郎	←
S34	川本 幸雄	←
S35	榊 博史	←
S36	村上 薫	←
S37	藤江 恂治	←
S38	関 清三	←
S40	田島 孝	←
S41	森田 浩三	←
S42	浜口 友一	←
S43	志賀 正	←
S44	井上 英也	←
S45	逢坂 福信	←
S46	高重 哲夫	←
S47	杉山 守	←
S48	蓮池 和夫	←
S49	成宮 憲一	←
S50	川原崎 雅敏	←
S51	辻本 雅彦	←
S52	古川 清二	←
S53	伊東 康之	←
S54	伊藤 八大	←
S55	尾上 誠蔵	←
S56	岡田 英俊	←
S57	平川 明	←
S58	柴沼 敏郎	←
S59	藤田 善弘	←
S60	田村 俊之	←

S61	中村 眞	←
S62	大矢 智之	←
S63	水本 政宏	←
H1	菅谷 靖	←
H2	中原 智勇	←
H3	鎌田 照己	←
H4	的場 直人	←
H5	松野 知愛	←
H6	(未定)	(未定) R2年度まで松村 善洋
H7	古屋 裕規	←
H8	森川 大補	←
H9	福原 忠行	←
H10	山本 輝哉	←
H11	竹田 真二	←
H12	保坂 幸治	←
H13	西尾 真貴	←
H14	佐々木 純	R4年度まで辻野 孝輔
H15	南川 敦宣	←
H16	瓶井 悠	←
H17	松ヶ谷 篤史	←
H18	松嶋 孝明	←
H19	手島 邦彦	←
H20	(未定)	(未定) R3年度まで大石 裕司
H21	小林 陽太郎	←
H22	(未定)	(未定) R3年度まで本間 寛明
H23	(未定)	(未定) R3年度まで北浦 宏祐
H24	下井 智裕	←
H25	松藤 浩平	←
H26	新谷 翔吾	←
H27	小熊 優太	←
H28	岡本 浩尚	←

H29	(未定)	R4年度まで福原 真←
H30	(未定)	←

H31	(未定)	←
R2	(未定)	←

●評議員

卒年	令和6年度 評議員	(参考) 令和5年度 評議員
S23	仲本 秀四郎	←
S30	荒木 襄 魚住 董	←
S31	近藤 光洋	←
S32	三橋 堯	←
S34	橋本 勉 川本 幸雄	←
S35	西田 武彦 幸野 眞士 角 忠夫	←
S36	和田 昌美 前川 則夫	←
S37	竹居 敏夫 竹井 大輔 馬場 征彦 藤江 恂治	←
S38	伊吹 十之	←
S40	田島 孝	←
S41	向井 利典	←

S42	久樹 隆彦	←
S43	中野 貞彦 松田 晃一	←
S44	井上 英也	←
S45	塩見 正	←
S46	小澤 秀司	←
S47	遊佐 洋	←
S48	安田 豊	←
S49	成宮 憲一	←
S50	小森 光修	←
S50	横川 文彦	←
S51	下村 寛士	←
S52	得井 慶昌	←
S53	伊東 康之	←
S54	伊藤 八大	←
S55	尾上 誠蔵	←
S56	北條 博史	←
S57	平川 明	

●趣味の会幹事

名称	令和6年度幹事	(参考)令和5年度幹事
囲碁会	向井 利典(S41卒)、内海 一成(H8年卒)	←
麻雀会	石黒 公(S40卒)	石黒 公(S40卒)
ゴルフ会	田崎 信(S44卒)	古澤 久具(S35卒)、山澤 穰(S38卒)、 田崎 信(S44卒)
洛謡会	村上 薫(S36卒)	←
テニス会	山内 英樹(S44卒)、田中 喜男(S44卒) 成松 洋(S46卒)	←

●拡大クラス会幹事

名称	令和6年度幹事	(参考)令和5年度幹事
京極会[S35～S39卒]	村上 薫(S36)	←
洛粹会[S40～S44卒]	志賀 正(S43)	浜口 友一(S42)
洛談会[S45～S49卒]	成宮 憲一(S49)	←
洛笑会[S50～S54卒]	川原崎 雅敏(S50)	伊藤 八大(S54)
喜洛会[S55～S59卒]	平川 明(S57)	北條 博史(S56)
洛泡会[S60～H1卒]	菅谷 靖(H1) 田村 俊之(S60)	水本 政宏(S63) 菅谷 靖(H1)
洛成会[H2～H6卒]	鎌田 照己(H3)	中原 智勇(H2)
百万遍会[H7～H11卒]	山本 輝哉(H10)	←
洛晶会[H12～H16卒]	堀内 健介(H16)	←

付録1:洛友会東京支部会則【令和元年6月30日改正】

(名称)

第1条 本支部は洛友会東京支部と称する。

(事務所)

第2条 本支部事務所は総務幹事の所属勤務先またはそれに準ずるところとする。

(目的)

第3条 本支部は会員相互の親睦を図り、学術文化の知識向上を図ること、並びに京都大学電気系教室の発展に寄与することを目的とする。

(行事)

第4条 本支部は第3条の目的を達成するため次の行事を行う。

1. 見学会、旅行会、講演会等を開催する。
2. 拡大クラス会及び趣味の会を支援する。
3. 支部総会を年1回開催する。
4. 隔年の本部総会開催時は協力、支援する。
5. 本部による会員名簿の発行、広告募集に協力する。
6. 米寿および喜寿の会員に対し祝意を表す。
7. その他本支部の目的を達成するに必要な行事を行う。

(会員)

第5条 本支部の会員は以下の通りとする。

1. 会員

本支部は洛友会会員で原則として関東地区に居住する者で組織する。またその周辺に居住するもので本支部に入会を希望するものは幹事会の議を経て入会する事を歓迎する。

2. 行事への参加

会員は総会に出席してその議決権を行使することができる。また、本支部の主催する各種行事に積極的に参加ならびに協力し、本会則ならびに総会及び幹事会の決議を遵守し、本支部の発展ならびに会員相互の交流促進をはかる。

3. 会費

会員は、洛友会会則により定められた会費ならびに支部会費を、年度の初めに一括して本部に、その他本支部行事参加費等本支部で定めた費用を、その都度遅滞なく納入する。

(役員及び役員会)

第6条 本支部には次の役員を置く。

1. 役員

(1) 支部長 1名

本支部を代表し、会務を統括する。

(2) 副支部長 1名

支部長を補佐し、支部長不在のときはその会務を代行する。

(3) 総務幹事 1名

会務全般を処理する。

(4) 会計幹事 1名

総務幹事を補佐し、会計事務を処理する。

(5) 庶務幹事 1名

総務幹事を補佐し、ホームページ維持管理ほか幹事会で決議した特命事項を担当する。

(6) 監事 1名

会計を監査する。

(7) 若手交流会幹事 1名

若手交流会を処理する。

2. 役員を選任

(1) 支部長及び副支部長は本支部総会の議を経て選任する。

(2) 総務幹事、会計幹事、庶務幹事及び監事、若手交流会幹事は支部長が委嘱する。

3. 任期

役員は任期は1年とし、原則として再任は行わない。ただし、庶務幹事については再任を妨げない。

副支部長が翌年の支部長に就任すること及び会計幹事が翌年の総務幹事に就任すること総務幹事が翌年の若手交流会幹事に就任することが望ましい。役員は任期が満了した場合においても、後任者が就任するまではその職を継続する。

4. 役員会

役員は役員会を組織し、総会の付議事項を含め、本支部の目的達成のため重要事項を審議し幹事会に提案する。

(幹事及び幹事会)

第7条

1. 幹事会メンバー

幹事会メンバーは第6条で定められた役員及び幹事会で指名された評議員及び学年幹事ならびに趣味の会、拡大クラス会等ごとに選任された代表者各1名により構成され、毎年幹事会で確認の上登録する。

支部役員経験者を評議員に加えることを考慮する。

2. 任期

第6条で定められた役員を除き、幹事会メンバーの任期については特に定めない。

3. 幹事会の運営

幹事会は、原則年2回開催し、年度の支部活動方針ならびに活動の総括、総会の付議事項、その他必要な重要事項の審議を行い、承認する。議長は支部長が、書記ならびに事務局は総務幹事が、幹事会メンバーの賛同を得てこれに当る。

(総会)

第8条 総会は本支部の最高議決機関で、全会員で構成する。

1. 総会は原則として毎年6月に開催する

2. 総会は支部長が招集して、その議長となる。

3. 総会の招集は開催日の1ヶ月前までに議題、日時、開催場所等を記載した書面、ホームページ又は電子メールなどで通知する。

4. 議決は出席会員の過半数の賛成により決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(総会の付議事項)

第9条 総会の付議事項は次の通りとする。

(承認事項)

(1) 前年度の行事報告及び収支決算

(2) 当該年度の行事計画及び収支予算

(決議事項)

(1) 支部長、副支部長の選任

(2) 本支部会則の変更

(3) 本支部の解散及び残余財産の処分

(4) その他本支部活動に必要な重要事項

(総会の議事録)

第10条

1. 総会の議事録については、議事録を作成し、これを保存する。

2. 総会において議決された事項は、会員にホームページ、洛友会会報等にて通知する。

(経理)

第11条 本支部は支部会費、交付金、寄付金及び行事参加費をもって経理する。

(年度)

第12条 本支部の年度は4月1日に始まり3月31日に終わる。

(慶祝事)

第13条

1. 米寿(数え年88歳)及び喜寿(満77歳)を迎えられた方々に対し、総会にて会員より祝意を表す。

2. その他会員の特別の慶事に対しては幹事会の議を経て祝意ならびに記念品を贈呈する事が出来る。

(趣味の会活動)

第14条 本支部は、有志より活動申請に基づき幹事会の承認を受けて趣味の会を組織できる。趣味の会は、本支部にその活動状況を報告する。本支部は活動の補助金を出すことが出来る。

(拡大クラス会活動)

第15条 本支部は5年単位にて有志からの活動申請に基づき幹事会の承認を受けて拡大クラス会を組織できる。拡大クラス会は本支部にその活動状況を報告する。本支部は活動の補助金を出すことが出来る。また、5年単位での活動継続が困難となった場合は、幹事会の承認により、複数の拡大クラス会を統合して拡大クラス会活動を行うことができる。

(付則)

本支部会則は令和元年6月30日付にて施行する。